

紫外線、毎日のドライヤー、アイロンやコテ、濡れた髪での摩擦など  
ケアせず過ごしていると、髪表面のキューティクルが開いて剥がれ、  
髪内部の水分や栄養が流出！さらに高温×多湿で水分をアン  
バランスに吸収し、髪が広がり扱いにくい状態になってしまいます。

## 梅雨時期は 湿気によるヘアのお悩みが多くなる！

梅雨時期は  
髪型の扱いが  
難しい...

湿気で髪の毛が  
ボサボサするときの  
対策は？

高温 × 多湿 で

# 広がる髪

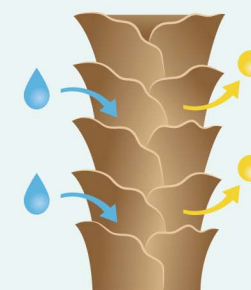
上手に扱う方法とは？

### ダメージ要因



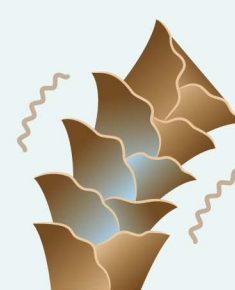
### 傷んだ髪

キューティクルが開き、水分が  
侵入し、内部の栄養が流出



### うねった髪

水分の増えた部分が  
膨張し、髪がうねる



そんな髪に大切なのは...

補う

自分の髪質、年齢に合った成分を配合しているアイ  
テムを使用しましょう。髪に必要なおい、栄養を  
補給することが大切です。髪の傷みを補修する成分  
や、保湿成分などが配合されているアイテムを普段の  
ケアに取り入れてみて！

そんな髪に大切なのは...

守る

バリア機能の役割を果たすキューティクルが損傷  
しないよう、できるだけ髪へのダメージを防ぐことが  
大切なポイント。ドライヤーやヘアアイロンによる  
熱ダメージを軽減するためにコーティングや紫外線  
対策を行ったりして髪を保護しましょう。

care  
point!

## 補うと守るのWケア

梅雨時期のヘアケアワンポイント、髪の栄養素をしっかりと入れた後は、出ていかないよう保護する

